

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		街並み環境整備				所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 1 5 年度	[終了予定]	- 年度				
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱						
	事業対象	商店街								
	事業目的	商店街の街路灯・アーチ・カラー舗装・共同施設等の設置、改修に要する経費の一部を補助することにより、商業環境整備を促進し、商店街の活性化を図る。								
	事業内容	商店街の街路灯・アーチ・カラー舗装・共同施設等の設置、改修に要する経費の一部を補助する。 補助率: 1/2(東京都の補助対象となった場合は区と都を合わせて2/3以内) 限度額: 任意1,000万円 法人5,000万円(区・都それぞれの限度額)								
	委託の有無	なし	委託内容							
	補助金の有無	都								
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度			
	活動指標	助成件数	件	6	7	5	10			
	成果指標									
	決算額	(単位:千円)			30,058	70,976	128,275			
	事務事業コスト	(単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)		5,415	4,261	5,101			
			物にかかるコスト(物件費・維持補修費)		185	233	174			
			その他のコスト(扶助費・補助費など)		29,873	70,744	128,102			
			総経費		35,473	75,238	133,377			
	財源項目	(単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)		0	0	0			
			その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)		14,622	35,265	63,421			
一般財源(区負担額)			20,851	39,973	69,956					
前回評価から改善した事項	事業実施が円滑に運ぶよう、事前準備として建築・道路関係などの必要な許認可を得たうえで、関係各機関との早期調整を図りながら事業を実施していくよう、引き続き指導・助言を行った。また、平成26年度は前年度と比較して事業数・規模が大幅に増加したため、早期から商店街に対して指導・助言を行い、効率的な運営を図った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	商店街が主体的に行う環境整備事業に対し行政が必要な支援を行うことは、地域経済の中心である商店街の活性化を図るうえで必須である。老朽化したアーケードや街路灯などの改修を通してより明るく活気のある環境を整備したいという要望・相談は増えており、継続的な支援が必要である。							
	効率性	3	計画性・必要性・課題認識に関するヒアリングの実施や、現地調査・指導・助言を行うことで、事業の効率化を図っている。							
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえでやっている。また、商店街に対して早い段階から積極的に指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図っている。							
目的達成度	4	26年度は、街路灯・アーケードの新設、大規模な改修等があったため、目標を大きく上回る結果となった。								
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
地域経済の活性化を図るため、商店街設備の整備や、老朽化した設備の改修は不可欠である。今後とも、必要に応じて商店街が環境整備を行えるよう、東京都と連携しながら事業を進めていく。							維持			